

上野原市 都市計画マスタープラン 概要版



「人と自然にやさしい環境共生都市 “うえのはら”」を目指して

上野原市では、このたび平成46年を目標年次とする「上野原市都市計画マスタープラン」を改定しました。

今回の改定では、中心市街地を中心とする都市環境や河岸段丘が織りなす風光明媚な自然環境の中で、市民の皆様が快適に暮らせる循環型社会を目指すため「人と自然にやさしい環境共生都市 “うえのはら”『都市環境と自然環境の共生』」を都市のイメージとして掲げ、これまでの都市計画に関する施策は継続しつつ、少子・高齢化や人口減少への対応、持続可能なまちづくりに向けた循環型社会への対応、東日本大震災の経験を活かした安心・安全なまちづくりへの対応など新たな課題への対応を加味したものとしました。

今後は市民の皆様や関係事業者の皆様との協働により、その実現に向け全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解とご協力をお願いいたします。

最後に、本計画の策定にあたり「上野原市都市計画マスタープラン策定委員会」の委員の皆様をはじめアンケートやパブリックコメント、聞き取り調査などを通してご意見やご要望をお寄せいただいた市民の皆様など関係された皆様方に心から感謝申し上げます。



上野原市長 江口英雄

平成26年10月

1

上野原市都市計画マスタープランの位置づけ

上野原市都市計画マスタープラン（市町村の都市計画に関する基本的な方針）は、都市計画法第18条の2に基づき、「まちづくりの具体性ある将来ビジョンを確立し、今後取り組む課題をはじめ、市全域および各地域・地区のまちづくりの課題とこれに応じた整備方針」を総合的に定めた都市計画の方針として定めるものです。

今後、本市が定める都市計画は、本マスタープランに沿って定められることになり、都市計画の決定・変更や各種まちづくり事業の実施、地域のまちづくりルールなどを定める際の指針として、さらに市民や事業者（企業等）、行政が共有する「まちづくりの指針」としての役割を果たします。

2

都市のイメージとまちづくりの目標

本市は、河川によって形成された河岸段丘に市民生活の基盤を形成し、里山、河川がつくり出す風光明媚な地域の中に多くの歴史や文化が息づくまちです。中心市街地を中心とする都市環境や周辺の豊かな自然環境の中で、市民が快適に生活していく循環型社会を目指すため、都市のイメージを「人と自然にやさしい環境共生都市“うえのはら”『都市環境と自然環境の共生』」と設定しました。

<都市のイメージとまちづくりの目標>

都市のイメージ

人と自然にやさしい環境共生都市“うえのはら”
「都市環境と自然環境の共生」

目標

豊かな環境の中で
健やかに暮らせる
まちづくり

自然災害・都市災害・
犯罪などを防ぎ、市民が
安全・安心に暮らせる
まちづくり

都市的なまち・
自然豊かなまちの中で
賑わいと活気あふれる
まちづくり

コンパクトな市街地・地区拠点の形成と連携

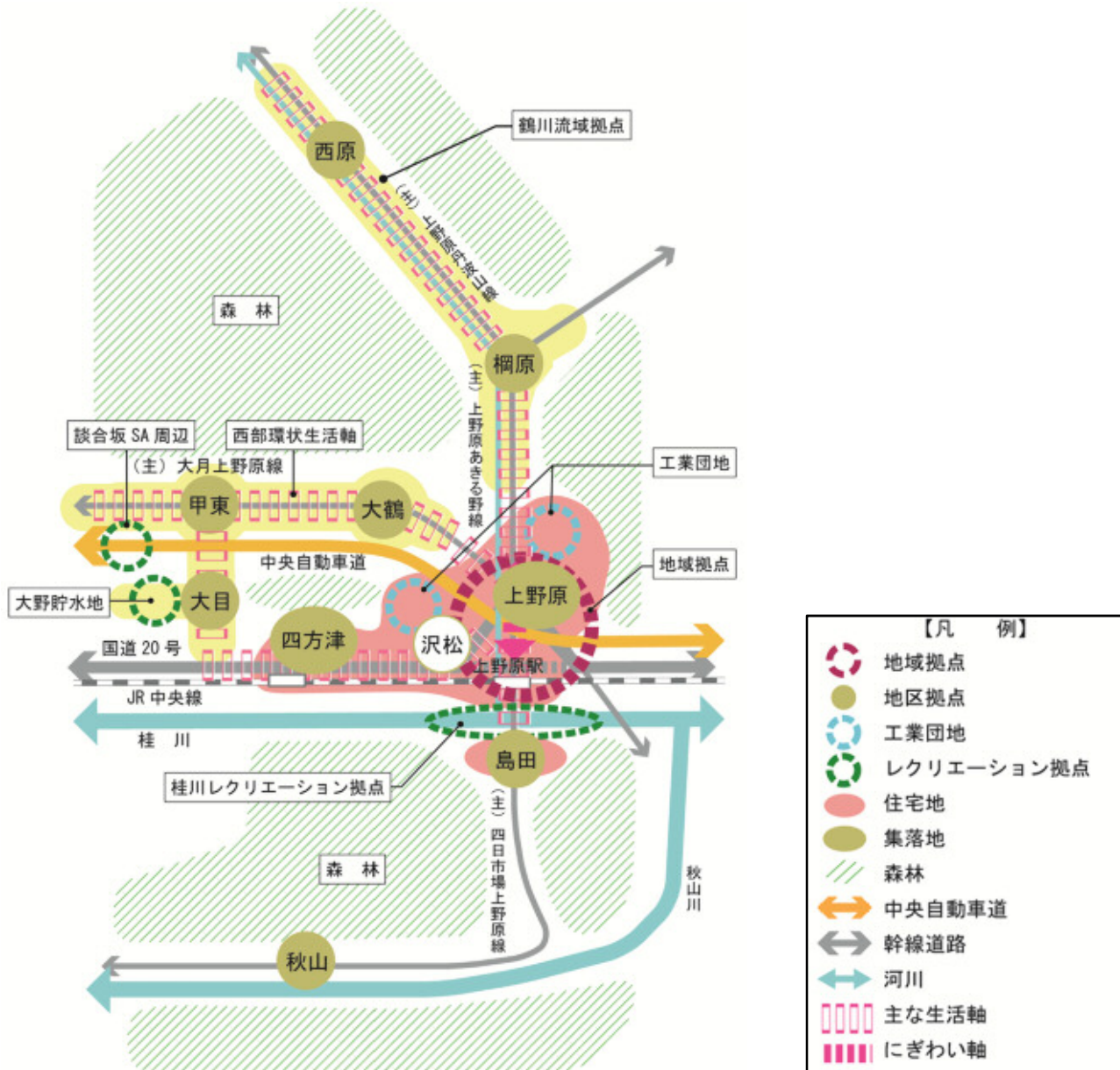
実現化へ向けて

- 行政がオピニオンリーダーとして先導しつつ、行政と市民とが知恵と熱意を積極的に提供し合う推進力のあるまちづくり
- 人口減少や都市経営コスト制約に配慮した効率的・効果的な都市運営

3 将来の都市構造

本市の将来像やまちづくりの目標を実現するため、本市の個性である台地の構造を土台に、次のような考え方に基づいて将来のまちの骨組みづくりを進めていきます。

<上野原市の都市構造（都市構造図）>



(1)拠点形成 機能分担による持続可能かつ効率的・効果的な地域・地区拠点形成

- 市の中心部に都市圏域の自立を支え牽引する地域拠点エリア設定
- 地域の生活を支える「地区拠点」の設定
- 地域の魅力を「見せる場」「活かす場」としての拠点づくり

(2)ネットワーク形成 拠点をつなぐ骨格的な交通ネットワーク形成

- 市内外の地域間交流を強化する交通ネットワーク整備
- 中心市街地の活性化に資する道路網の改善

(3)主要ゾーン形成 有効な資源活用（保全・開発）による地域の魅力向上

- 自然と共生する地域づくり
- 今後の発展に資する基盤整備

4 分野別まちづくりの方針

目標を達成するために、本市の課題、都市のイメージ・目標、都市構造および今後整備を促進する都市施設などを踏まえ、分野別まちづくり方針を設定しました。

(1) 土地利用 良好な自然と共生し、地域の特性に応じた計画的な土地利用を推進します

- 中心市街地の都市構造を再編し、活力と魅力を高めていきます
- 特色ある拠点を育成し、まちの活力と魅力を高めていきます
- 市街地の無秩序な都市化を防止し、地域の特性に応じた計画的な土地利用を図ります
人口減少社会に対応したコンパクトな市街地形成を誘導します
- 山間集落地域の特性に応じた土地利用の推進と居住環境の維持・向上を図ります
- 良好な自然資源の計画的な維持・保全とまちづくりへの活用を図ります

(2) 道路・交通体系づくり 骨格的な道路網や交通結節点の強化を図るとともに、安全・快適な暮らしと交流を支えるみちづくりを進めます

- 中心市街地および地域間を結び、内外の交流を支える道路網の強化を図ります
- 駅など交通結節点の機能の強化と公共交通機関の利便性を高めます
- 安心・快適な暮らしを支えるみちづくりを進めます

(3) 生活基盤づくり 安心して快適に住み続けられる充実した住まいと生活環境づくりを進めます

- 身近な生活基盤施設の整備・充実を進めていきます
- 地域の風土に根ざし、定住を促す良質でゆとりある住まいづくりを進めます

(4) 水と緑のまちづくり 豊かな自然を守り、自然と調和した緑豊かな潤いあるまちづくりを進めます

- 豊かな自然資源を保全するとともに、まちづくりへの活用を進めます
- 多様な緑の拠点とネットワークづくりを進めます
- 緑化の推進により個性と潤いあるまちなみの形成を図ります
- 環境に配慮したまちづくりを進めます

(5) 安全・安心なまちづくり 地震、風水害等から市民の生命と財産を守るための災害に強いまちづくりを進めます

- 治山・治水に対する安全確保策を推進します
- 地震等の自然災害や火災に対する安全確保策を推進します
- 防災拠点機能や防災体制の強化を図ります

(6) 人にやさしいまちづくり 少子・高齢社会に対応し、高齢者・障害者や子育て世帯など誰もが安心して暮らせる人にやさしい環境づくりを進めます

- 公共施設や交通結節点等のバリアフリー化を進めます（ユニバーサルデザインの導入）
- 人にやさしい生活環境づくりを進めます
- 協働による福祉のまちづくりを進めます

(7) 個性ある地域づくり 自然・歴史・文化等の地域資源を保全・活用した、ふるさとに愛着と誇りをもてる個性ある地域づくりを進めます

- 特色ある景観資源、歴史・文化資源の保存とまちづくりへの活用を図ります
- 上野原らしい個性と愛着のある景観づくりを進めます
- 協働による景観まちづくりを進めます

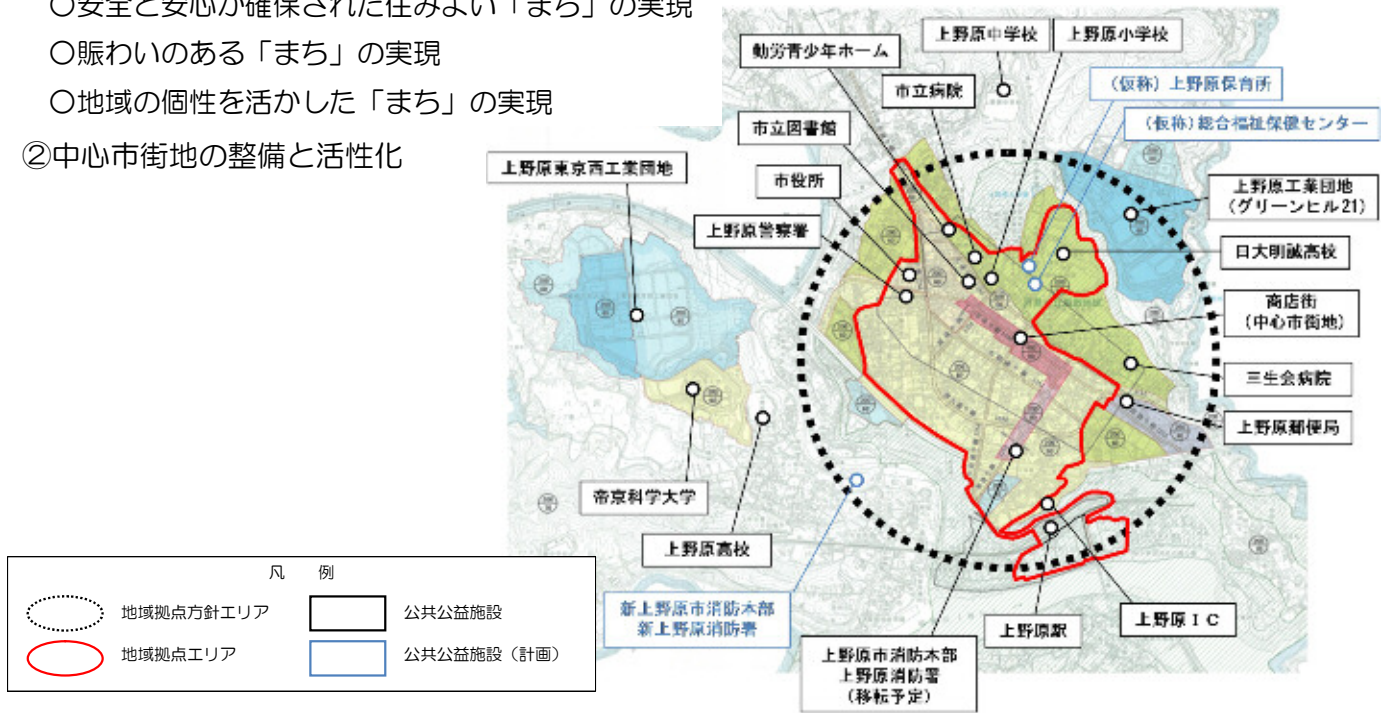
5 地域・地区別まちづくりの方針

(1) 拠点エリアの設定

本市における都市圏域の自立を支え牽引する拠点として、上野原地域拠点エリアを設定しました。
 上野原地域拠点エリアは、行政、医療、教育、文化、商業等の多様な都市機能を有する、上野原地区中心市街地周辺および上野原駅周辺とします。

■ 地域拠点エリアのまちづくりの方針

- ① コンパクトなまちづくりによる中心市街地の再生
 - アクセスしやすい「まち」の実現
 - 安全と安心が確保された住みよい「まち」の実現
 - 賑わいのある「まち」の実現
 - 地域の個性を活かした「まち」の実現
- ② 中心市街地の整備と活性化



(2) 地域・地区の区分および地区拠点の設定

地域・地区の区分は、鉄道や道路河川などによる土地利用や地形構造の形態、町村合併等の経緯や日常生活の生活圏のまとまりを考慮して、4地域・9地区を設定しました。

地域・地区別のまちづくり方針は、地域・地区の特性を考慮して、都市計画区域および中心市街地を有する桂川流域地域は地区別とし、中部丘陵地域、鶴川流域地域および秋山川流域地域は地域別としました。

		地域・地区区分			
地域	桂川流域	中部丘陵	鶴川流域	秋山川流域	
地区	巖島田 ◎上野原	大目 甲東 大鶴	桐原 西原	秋山	



①上野原地区

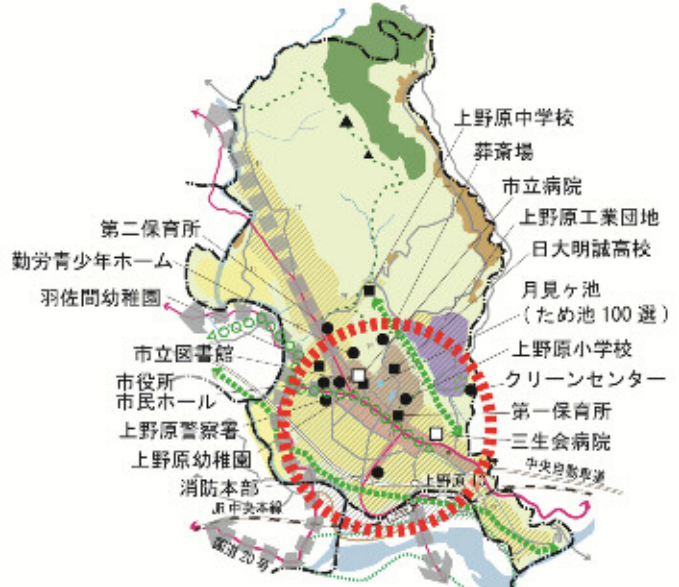
■地区の将来像と目標

市の中核を担い先導的な役割を
果たすまち

- 市の中核を担う人々が集い、賑わう拠点を創出するとともに、各地域との交通ネットワークの強化を目指します。
- 市の文化、情報、地域資源など発信拠点の創出を目指します。
- 産・学・市民が連携し多様な枠組みをつくり、誰もが住みやすい生活環境の創出を目指します。

■重点プロジェクト

- 中心市街地の活性化
- シビックゾーンの整備



②巖地区

■地区の将来像と目標

市西部の中核として快適で住みよいまち

- コミュニティを強化し連携あるまちを目指します。
- 産・学・官の連携による地域資源を活用した先進的なまちを目指します。
- 駅や各地域を結ぶ道路ネットワーク機能を強化し、安全・安心な交通環境づくりを目指します。

■重点プロジェクト

- コミュニティの活性化による地域振興
- 地域資源を活かした快適で住よいまちづくり



③島田地区

■地区の将来像と目標

自然の美しさと住み良さを
兼ね備えたまち

- 保全と開発が調和する緑豊かな潤いあるまちなみを目指します。
- 市の玄関口となる上野原駅周辺整備と桂川の潤いある水辺を活かしたまちづくりを目指します。
- 道路網の見直し、整備の推進、公共交通機関の利便性向上を図り、誰もが快適に移動できる交通結節点を目指します。

■重点プロジェクト

- 上野原駅の交通結節点としての機能強化
および周辺地区の整備推進
- 計画的かつ段階的な宅地化誘導



凡 例

— 行政界	<土地利用>	● 地域拠点	<その他>	■ 教育施設
— 地区界	■ 住宅地	● 地区拠点	■ 斜面緑地の保全	● 公共施設
<道路・交通>	■ 集落	● 観光レクリエーション拠点 (緑の拠点)	■ 水辺空間の保全と治水 安全性の向上(河川)	〒 郵便局
— 中央自動車道	■ 主な公園・緑地	— 緑と景観のシンボル軸	— 公共下水道全体区域	〒 神社
— 幹線道路	■ レクリエーション施設等	— 登山道・ハイキングコース	— 橋梁	卍 社寺
— 補助幹線道路等	■ 森林			▲ 山地
— 地域間連絡道路	■ ゴルフ場			

④中部丘陵地域（大目、甲東、大鶴）

■地域の将来像と目標

豊富な地域資源を活かし、
活力を次世代に引き継ぐまち

- 談合坂サービスエリアおよび（仮称）談合坂スマートインターチェンジを活かし、地域に人を呼び込むための地域資源・地域産業の展開を目指します。
- 自然環境と調和した土地利用や里山居住の推進による定住促進へ向けた取り組みを進めます。

■重点プロジェクト

- 交通環境を活かした地域活性化の推進
- 旧甲州街道宿場町の風土の歴史を受け継ぐまちづくりの推進



⑤鶴川流域地域（柵原、西原）

■地域の将来像と目標

つながりと豊かさを育む、
ずっと住み続けたいくなるまち

- 人々が集い、地域活動をつなぐ、暮らしの安心と未来への希望が持てる小さな拠点づくりを目指します。
- 自然レクリエーション資源や地域の伝統・文化を活用し多くの人との交流を育みます。
- 周辺地区との連携・交流を図るため、地域間の道路網の整備を推進します。

■重点プロジェクト

- 農地を維持・保全し、活用したまちづくり
- 豊かな緑の保全と活用



⑥秋山川流域地域（秋山）

■地域の将来像と目標

魅力ある地域社会の創造と
新しい交流の展開

- 豊かな自然環境を維持・保全・活用し、美しく自然あふれる農村を形成します。
- 生活環境整備を推進し、安全・安心な居住環境の確保に努めます。
- 地域の伝統や特性を大切にしつつ、上野原市としての一体感の醸成を図ります。

■重点プロジェクト

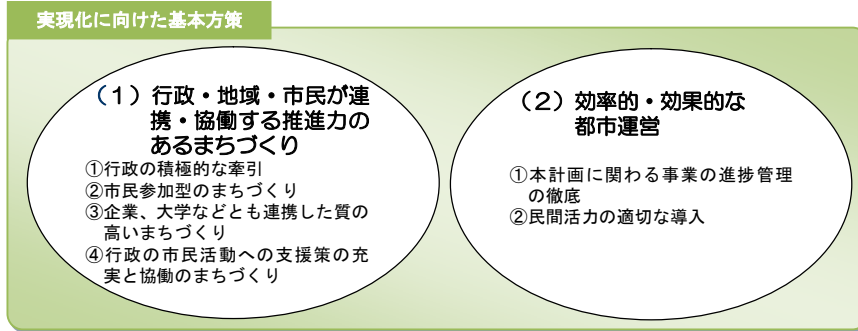
- 豊かな自然を活用した地域活性化の推進
- 山村文化を楽しめる定住化対策



6 実現に向けて

本マスタープランでは、概ね 20 年後の本市の将来像を見据え、市全域、市内4地域・9地区について計画を定めました。まちづくりを実現するためには、市民やNPO、ボランティア団体、学校、民間事業者、行政が協力していくことが重要です。本マスタープランでは、そのための仕組みや方策など実現化に向けた基本的な考え方を示します。

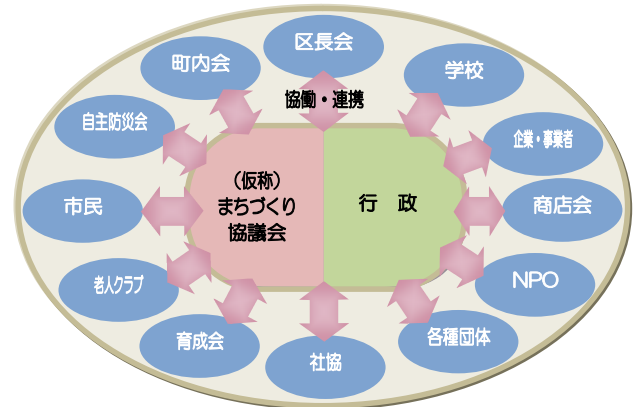
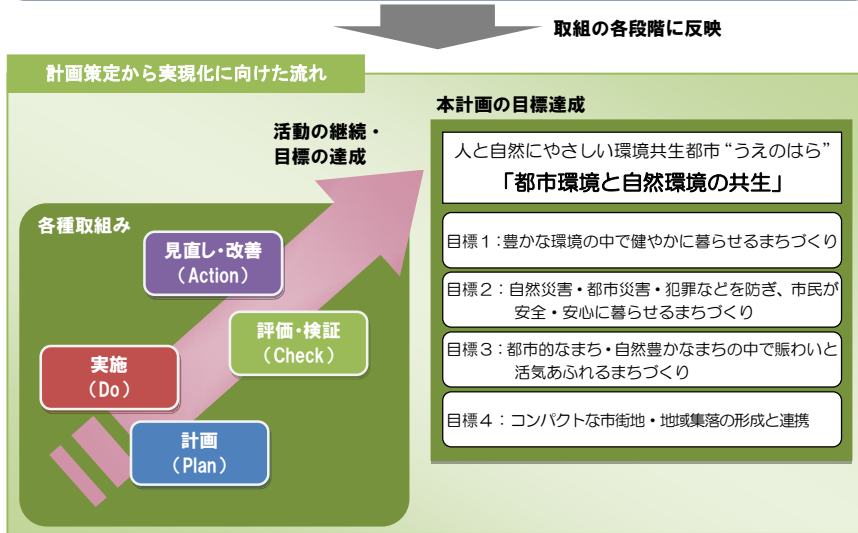
<上野原市の将来の都市構造の実現に向けた流れ>



<まちづくりの実施体制の構成イメージ>

地域住民、町内会、事業者、NPO 法人、各種地域団体など、地域を取り巻く様々な人々によって構成され、地域住民間の交流や住み良い環境づくりなど、地域に根ざした活動を展開します。

本マスタープランで設定した将来のイメージの実現や目標を達成するためには、各主体がそれぞれの役割を認識し、行動を起こしていくことが重要です。



7 上野原市都市計画マスタープラン策定委員会 委員 (◎委員長、○副委員長)

氏名		氏名		氏名	
◎飯島 勤	(上野原)	植松 弘子	(上野原)	鈴木 洋一	(県職員)
○保坂 正英	(巖)	岡田 錦三	(上野原)	山崎 範夫	(副市長)
佐藤 眞也	(巖)	笠原 マサ子	(上野原)	酒井 信俊	(教育長)
足立 一男	(島田)	田島 征夫	(上野原)	水越 章	(市職員)
石塚 淑子	(島田)	中村 勇男	(上野原)	和田 正樹	(市職員)
佐藤 稔	(島田)	原島 和平	(上野原)	小早川 浩	(市職員)
宮田 憲次	(島田)	長田 喜巳夫	(市議会)	答申時委員	(順不同)

※上野原市都市計画マスタープラン全文については、上野原市ホームページでご覧いただけます。
上野原市ホームページ <https://www.city.uenohara.yamanashi.jp/>

発行 上野原市

編集 上野原市 建設経済部 都市計画課

〒409-0192 山梨県上野原市上野原 3832 番地

電話：0554-62-3191 FAX：0554-62-1086